

新中地第539号
平成29年10月27日

中央区自治協議会委員 各位

中央区長 石塚 里栄子
(担当：中央区地域課)

地域ミーティングに向けた事前資料の配付について

標記について、別紙のとおり中学校区ごとの「地域カルテ」をお配りいたしますので、選出母体等にお伝えいただくとともに、地域ミーティングの意見交換の際にご活用いただければと思います。

【問い合わせ先】

中央区地域課

企画担当：土佐、地域振興担当：金成

TEL：025-223-7023、025-223-7025

FAX：025-223-3660

E-mail：chiiki.c@city.niigata.lg.jp

地域ミーティングに向けた事前資料の配布について

1. 趣旨

昨年度実施した健康度の「見える化」に続き、中学校区を単位とした人口の現状と将来推計などをとりまとめた「地域カルテ」を作成し「見える化」を進めていきます。

11月下旬以降に予定されている地域ミーティングにおいて、「地域の人口動向」をテーマとしたいと考えており、地域の皆様との意見交換がより深まるよう、事前に「地域カルテ」を配布します。

人口減少の速度や少子化、高齢化の進展具合は、地域によって異なることから、「地域カルテ」により地域の現状と将来の姿を把握いただくとともに、今後、地域での活動を検討する際の資料のひとつとしてご活用いただきたいと思います。

2. 地域カルテ項目(案)

・人口の現状、将来推計

〔 ・健康度データ
・公共施設の配置状況 〕 など

3. 当面のスケジュール(予定)

- ・各区 10 月自治協議会にて報告後、コミュニティ協議会へ地域カルテをお届けします。
- ・各区で開催の地域ミーティングで地域の人口動向をテーマとし、意見交換を行う予定としています。



市長随想

ひこうき雲

▷158◁

人口の東京一極集中が加速しています。「2020年の東京オリンピック・パラリンピックまで、この動きはさらに勢いを増す」と見る専門家が、首都圏の吸引力の影響をまともに受ける新潟は特に注意が必要です。

本市は、平成27年に人口ビジョンを策定し、将来展望人口として、2040年までの社会増を過去10年の平均の1.5倍にするとともに、自然増減では、出生率を国の長期的人口維持に必要な2.07と市民が望む出生率2.40の2つのパターンをお示ししました。

しかし、ことし8月の本市推計人口は80万4594人で、前年同月と比較して3257人の減少となり、社会増

減も昨年はマイナス320人と減少に転じました。首都圏の膨張を考慮するとマイナスが続く恐れもあります。

この状況を受けて、本市では人口の課題を地域と共有し、よりきめ細かく対策を立てるために中学校区単位を基

この秋から地域にお示しすることになりました。最も基本的なデータは地域の世代別人口数です。これを基にすると5年後、10年後など、未来の人口予測が浮かんできます。何も手を打たなければ、地域は高齢化が進み、人口は減少していきます。この予測を

直視いただいた上で、地域特性を踏まえた可能性や自らの手で取り組めることについて意見交換を始めていきます。

例えば西蒲区の越前浜地区では「このままでは地域の小学校がなくなる」と危機感を持ち、地域ぐるみで空き家や共有地活用など、UIJター

人口の課題、地域と共有

ンに取り組みました。その結果、今では地域人口の17パーセント程度が移住された方（移住後に生まれたお子さまを含む）となり、本市の移住モデル地区第1号に指定されてもらいました。

「地域カルテ」には、分析済みの「地域の健康度」や各種公共施設の設定状況なども併せ、まず、区自治協議会やコミュニティ協議会などにお示しします。UIJターや婚活へお取り組みいただける地域には、市としても伴走し、支援することで人口減少を緩やかにしていきます。



孫田 昭